POLA ORBIS HOLDINGS

NEWS RELEASE

2014 年 10 月 31 日

ポーラ化成工業、国際化粧品技術者会連盟（IFSCC）世界大会で「最優秀賞」を獲得

口頭発表基礎部門で『月経周期におけるニキビ悪化と皮膚抗菌ペプチド hBD-3 の関連性』が受賞

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：岩﨑泰夫）は、10 月 27 日～30 日にフランス・パリで開催された第 28 回国際化粧品技術者会連盟（以下 IFSCC）世界大会において、口頭発表基礎部門で「最優秀賞」を受賞しました。

IFSCC は 2 年に 1 回開催される世界中の化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会で、今回は口頭発表で 78 件の発表案件が最先端化粧品技術を競い、その中からポーラ化成工業の論文テーマが選ばれました。ポーラ化成工業の同大会のアワード受賞は 7 度目で、前回の 2012 年ヨハネスブルク大会に続いて 2 大会連続となりました。



IFSCC 口頭発表基礎部門で最優秀賞を受賞した後藤悠研究員

受賞論文概要

■論文タイトル：『月経周期におけるニキビ悪化と皮膚抗菌ペプチド hBD-3 の関連性』

英文名： Antimicrobial peptide human beta defensin-3 (hBD-3) as a key factor for acne flare-up during the premenstrual stage

発表者： ポーラ化成工業（株） 肌科学研究部 肌分析研究室 後藤（ごとう） 悠（はるか）

■論文概要

月経前のニキビの悪化に悩む女性は多いものの、その機序はよくわかっておらず、適切なケア方法は提示できていません。

本研究では、月経前に増加する女性ホルモン（プロゲステロン）と、表皮が産生する抗菌ペプチドに着目して研究を行った結果

① 皮膚抗菌ペプチドの一種であるヒトβ-ディフェンシン-3（hBD-3）が、ニキビの主要な原因菌であるアクネ菌に対して抗菌活性を示すこと

② 月経前に増加する女性ホルモンであるプロゲステロンが、ヒト表皮細胞の hBD-3 発現を低下させること

を見出しました。このことから月経前のニキビ悪化には、アクネ菌に対する抗菌活性を持つ hBD-3 の発現がプロゲステロンにより低下することが原因の一つと捉えられ、本研究成果を活用することで、より効果的なニキビケア化粧品の提案につながると考えています。

IFSCC について

IFSCC は、世界で最も権威ある化粧品学会で世界 47 ヶ国が加盟し、2 年に 1 回学術大会を開催しています。世界のトップレベルの化粧品技術者達が最先端の化粧品技術を発表するいわば化粧品業界のオリンピックともいえるものです。応募論文発表は IFSCC の厳正な審査を受け、選ばれたものだけに許されます。

今回はフランスでの開催となり、口頭発表 78 件、ポスター発表 458 件がそれぞれの新規性や優秀性を競いました。

【参考】ポーラ化成工業による IFSCC 世界大会受賞歴

２０１４年	パリ大会	最優秀賞（口頭発表基礎部門）
２０１２年	ヨハネスブルク大会	最優秀賞（ポスター発表部門）
２００８年	バルセロナ大会	最優秀賞（口頭発表基礎部門）
１９９８年	カンヌ大会	最優秀賞
１９９６年	シドニー大会	優秀賞
１９９４年	ベネチア大会	最優秀賞
１９８６年	バルセロナ大会	優秀賞

【本件に関するお問い合わせ先】 (株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540／Fax 03-3563-5543